

人を、想う力。街を、想う力。



2022年12月8日

報道関係各位

三菱地所株式会社

～「働く」を変えれば「生きる」が変わる、「^{ワーケーション}WORK×ationプロジェクト」第6弾～
^{ワーケーション}ワーク×ation Site 北海道ボールパーク F ビレッジ」を開設

三菱地所株式会社は、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントが2023年3月に開業する「[北海道ボールパーク F ビレッジ](#)」(以下、F ビレッジ)内に、ワーケーションオフィス

「WORK×ation Site 北海道ボールパーク F ビレッジ」を開設いたします。本施設は、和歌山県・南紀白浜、長野県・軽井沢、静岡県・熱海、静岡県・下田、神奈川県・箱根に続く、「[WORK×ation プロジェクト](#)」6拠点目となります。

新型コロナウイルスの影響により、場所や時間を柔軟に選択するワークスタイルが一層広まりを見せる中、人が集う「意義」が改めて問われています。三菱地所では、2018年8月よりワーケーション事業を展開しており、オフィス商品ラインアップにおいて「イノベーション創出特化型オフィス」として位置付け、これまでもフレキシブルなワークスタイルに対応する商品・サービスの拡充に努めてまいりました。

本施設は、ワーケーションでも注目を集める北海道で、今までにない野球場を超えた取り組みを行うF ビレッジ内での野球観戦をはじめとした様々なアクティベーションとのコラボレーションにより、これまでない「イノベーション創出体験」「新たな観戦体験」を創造します。

三菱地所は、新型コロナウイルス収束後のワーケーション需要拡大を見据え、今後も三菱地所ならではの知見やノウハウを活かして様々なワークスタイルニーズに応える新商品を開発していくとともに、人々の感動・出会いを呼び起こすスポーツ・エンターテインメント産業との協業を加速させていきます。



▲「WORK×ation Site 北海道ボールパーク F ビレッジ」左：パークサイド 右：フィールドサイド

■「WORK×ation Site 北海道ボールパーク F ビレッジ」について

本施設は、F ビレッジの核となる新球場「エスコンフィールド HOKKAIDO（以下、エスコンフィールド）」のレフトスタンドに位置する「TOWER 11（タワー・イレブン）」内に設置します。既成概念を打破する新たな観戦体験を提供する「TOWER 11」において、「野球場で仕事をする」「働きながら野球を観る」など、新たな体験を提供し、更には、温泉・サウナ、クラフトビール、グランピングやサイクリングなどの多様な体験を組み合わせた「ボールパーク型ワーケーション」を提案します。

自然を眺める「パークサイド」にはチームでのディスカッションが加速するワーケーションオフィス、グラウンドが一望できる「フィールドサイド」にはソロワークや団らんが可能なラウンジ空間を整備し、試合日はもちろん非試合日もご利用いただける施設として、団体やグループでのプロジェクトチーム合宿や研修・チームビルディングなど、皆様のニーズに応じた運営をいたします。

■「WORK×ation Site 北海道ボールパーク F ビレッジ」施設概要

所在地:北海道北広島市 F ビレッジ

ES CON FIELD HOKKAIDO TOWER 11 4階 tower 11 hotel 内

※2023年1月より、町名が「共栄」から「F ビレッジ」に変更

面積:延床面積 82.8 m²

施設構成:パークサイド 1 室:46.7 m²、フィールドサイド 1 室:36.1 m² 計 2 部屋

ご利用:各部屋 1 日 1 組専有 (2 部屋利用を前提)

備品:Wi-fi、プロジェクター、ホワイトボード、ディスプレイ、OA タップ、文具等

開業時期:2023年3月

※料金や営業時間、予約方法などの詳細は、決定次第、三菱地所の [WORK×ation 公式サイト](#)にてお知らせいたします



▲本施設ロゴ

(参考)

■三菱地所の「WORK×ation プロジェクト」について

- 三菱地所は2018年にワーケーション事業に参画して以降、和歌山・南紀白浜や長野県・軽井沢等での施設開業、ポータルサイトの開設など、ワーケーションの普及と認知拡大に向けて事業を推進してまいりました。
- 取り組みをさらに加速すべく、『働く』を変えれば、『生きる』が変わる』をコンセプトに掲げ、取り組みの総称を「WORK×ation プロジェクト」として策定しました。今回の「WORK×ation Site 北海道ボールパーク F ビレッジ」は本プロジェクトの第6弾となる取り組みです。

<第1弾:2019年5月「WORK×ation Site 南紀白浜」オープン>

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec20190507_workation_site_nankishirahama.pdf

<第2弾:2020年7月「WORK×ation Site 軽井沢」オープン>

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200727_workxation_site.pdf

<第3弾:2021年5月「WORK×ation Site 熱海」オープン>

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210514_workxation_site_atami.pdf

<第4弾:2021年7月「WORK×ation Site 伊豆下田」オープン>

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210309_workxation_site_izushimoda.pdf

<第5弾:2021年10月「WORK×ation Site 箱根湯本」オープン>

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec211005_workxation_site_hakoneyumoto.pdf



～「働く」を変えれば、「生きる」が変わる～

WORK〔仕事〕

- × ①**Location**〔場所を変え〕
- ②**Motivation**〔動機付けをし〕
- ③**Communication**〔対話の中で〕
- ④**Innovation**〔革新が生まれる〕

▲三菱地所が定義するワーケーション



▲ポータルサイト二次元コード

○三菱地所が定義する「ワーケーション」とは

- ・「ワーケーション」とは、リモートワークを活用し、リゾート地等の環境の良い場所で、休暇や研修等を兼ねて短中期的に滞在し仕事を行う取り組みです。Work（仕事）と Vacation（休暇）を組み合わせた欧米発の造語といわれています。
- ・三菱地所では、Vacation に限定せず、Work（仕事）と Location（場所を変え）、Motivation（動機付けをし）、Communication（対話の中で）、Innovation（革新が生まれる）ワークスタイル、といった意味合いを込めた造語として、ワーケーションを定義しております。

○三菱地所が考える「ワーケーション」による価値共創について

- ・企業がワーケーションを導入することは、社員、導入企業、受け入れ自治体等、関係する様々な立場の方それぞれにポジティブな効果をもたらし、価値共創に寄与することが可能です。
- ・イノベーションを起こすには、人と人との深いつながりや、深いコミュニケーションによるチームの一体感が大切であると考えており、“チームや組織の結束力を高める”ことをサポートする商品として、ワーケーションオフィスの商品設計に取り組んでまいりました。テナント企業等が抱える、社員間のコミュニケーション不足に起因する「生産性の低下」「企業への帰属意識の低下」や、先進的な働き方を許容する「企業ブランド力の向上」「企業の採用力強化」等の課題解決に資するソリューションとしてワーケーションオフィスの利用をご提案するとともに、地方と都市の新たな関係を構築することを目指しています。



■「北海道ボールパーク F ビレッジ」について

2023年の3月に、北海道日本ハムファイターズの新球場エスコンフィールドを核としたFビレッジが開業。約32ヘクタールの広大な敷地面積に、子どもの遊び場、商空間、グランピング施設、プライベートヴィラなど、野球場の枠を超えた施設が展開され、試合がない日でも楽しめるコミュニティスペースに。地域社会の活性化や社会の貢献につながる共同創造空間を目指し、計画が進められています。

以上